

69. 愛媛大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名:共通教育科目「数理と論理の世界」(授業題目「初級微積分」)
対象学生数:206人
実施時間数:前学期5クラス開講(1クラス:90分/週)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本リメディアル科目は、1年次前学期に開講される共通教育理系基礎科目(数学:微積分I等)への補完教育として位置付けられている。
対象学部は、理学部、工学部、農学部、教育学部の一部及びスーパーサイエンス特別コースであり、また受講対象者は、入学直後に実施するプレースメント・テストの結果により、数学の基礎力が低いと判断された者である。
教員間及び共通教育センターとの連携を保ち、またプレースメント・テストの実施・採点には数学以外の教員も参加することで業務負担の分散化を図っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務を実施している職員の人数、予算

授業担当教員:専任教員1人、非常勤講師2人
21年度予算:83万5千円(非常勤講師予算45万円、TA予算38万5千円)

② 外部委託の現状、今後の予定

5クラス中、3クラスの授業担当を2人の非常勤講師に依頼している。
今後も同程度のクラス数を非常勤講師に依頼する見込みである。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

授業の実施、試験の実施、成績評価等。

70. 高知大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名	対象学生数(H21)	実施時間数(実時間)
微分、積分学の基礎	56	45
物理学の基礎	21	45
化学の基礎	56	45
生物学の基礎	55	45
地球科学の基礎	24	45
大学英語入門S	20	90

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

入試方法の多様化に伴い、高等学校で理数系科目を履修していない学生が入学しており、その学生に対して、学部専門教育の授業に望む前に1年間のフォローアップ授業として開講している。特に理学部・農学部に入学者に対して、学部の履修説明会などで「〇〇学の基礎」の履修を推奨している。

「大学英語入門S」については、必修科目である「大学英語入門」において、プレースメントテストによる習熟度別クラス編成を行っており、テストの結果、平均的な学生の英語レベルより劣ると自身が判断した学生が履修している。通常の「大学英語入門」が半期開講に対し、「大学英語入門S」は通年開講で時間数が2倍となっている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

11名、900,000円(H21年度)

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託ではなく、常勤教員(6名)と非常勤講師(5名)により対応している。
今のところ、外部委託の予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

71. 福岡教育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当ありません。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当ありません。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当ありません。

② 外部委託の現状、今後の予定

業務の外部委託については、現在、実施しておらず、今後も予定していません。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当ありません。

72. 九州大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

農学部において、次の科目を実施している。

- ・生物学基礎概要(2単位) 平成21年度受講者(119名) 平成19年度から開講
内容:高校時代に生物を選択していなかった学生を対象に生物学の基礎について講義する。
 - ・物理学基礎概要(2単位) 平成21年度受講者(126名) 平成19年度から開講
内容:高校時代に生物を選択していなかった学生を対象に物理学の基礎について講義する。
- また、全学教育科目(教養課程)において、高等学校理科で物理学を履修していない学生への配慮として、正課教育の「力学基礎」「電磁気学」で未履修クラスを設置し、授業を実施している。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

正課教育の一環としての教育に位置づけている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

人数:学外非常勤講師3名、ティーチングアシスタント4名(農学部)
予算:運営費交付金

② 外部委託の現状、今後の予定

学外非常勤講師に講師を委嘱している。
本学においては、学士課程全体で学生に十分な教育成果をもたらすようにするといった観点から、リメディアル教育についても、一貫したカリキュラムの中に専門教育の基礎的な科目として位置づけているものであり、切り離して実施することは教育成果の観点から適切ではないことから、担当教員(学外非常勤講師含む)が担うべきと判断している。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

なし

73. 九州工業大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

(1) 推薦入学合格者を対象に数学・物理・化学の補習課題を行っている。
科目: 数学・物理・化学 対象学生数: 100名 実施時間: 課題取り組み期間約1ヶ月
(2) 工学部に設置した学習支援室において高校数学の個別指導を行っている。
科目: 数学 対象学生数: 530名 実施時間: 週4時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

学習到達度の低い学生への学習支援を行い、学士力と工学教育の向上を図る。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

学習支援室(専門教育も含む): 1名 2,908千円
推薦入学合格者への補習課題: 外部委託 1,150千円

② 外部委託の現状、今後の予定

推薦入学合格者への補習課題については外部委託を行っている。
来年度以降については今後検討を行う。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

数学・物理・化学の家庭学習用課題および提出用課題の作成及び採点を委託している。

73. 九州工業大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

- (1)推薦入試合格者を対象に研修会を行っている。
 (2)入学後リメディアル教育を行っている。
 ・解析リメディアル(31名・週1コマ×15週)
 ・初等物理補習(76名・週1コマ×15週)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

- (1)推薦入試合格者研修会の位置づけ
 a)本学で学ぶための基礎学力(数学, 物理, 英語)を入学前に身に付けさせる。
 b)入学まで継続して学習する機会を提供する。
 c)本学へ入学する意識を高め, 学習の目的と動機を得させる。
 (2)入学後リメディアル
 一般入試合格者も含めた全学生に対する高等学校レベルの基礎学力の向上,
 平成21年度は, 数学, 物理で1年次前期に, 週1コマ(90分)の講義を実施。
 一部, eラーニングも可能。希望者に受講させる。

(3)業務の実施体制

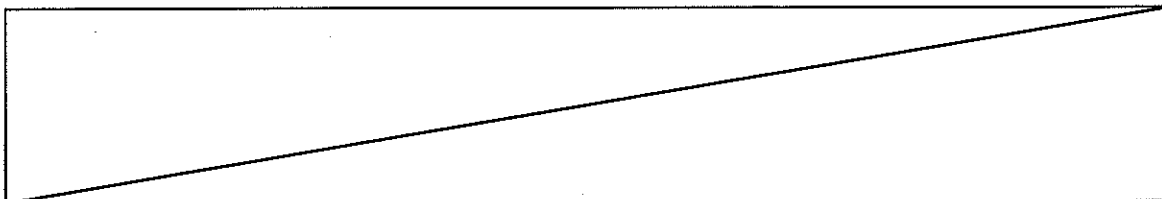
① 本業務に実施している職員の人数、予算

- (1)合格者研修会
 学部教員:6名, 講師:数学, 物理, 英語で各2名ずつ, 助教1名, 事務担当1名
 (2)入学後リメディアル
 数学, 物理で, 講師1名ずつ
 予算:平成20年度, 21年度ともに460万(ただし, 恒常的な人件費は除く。)

② 外部委託の現状、今後の予定

現在は、外部委託はしていない。
 入学後の修学に必要な教育をきめ細かく行い、また、教員や他の入学(予定)者等とのコミュニケーションを計るなど学生のメンタルヘルスの観点上、本学の教員等がリメディアル教育を担当する方が、外部委託より効果的・効率的な運用が行えるため、現時点では外部委託は積極的に検討していない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容



74. 佐賀大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

75. 長崎大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

正課の授業科目としては行っていないが、単位にならない補習科目として次の講習を行っている。

(平成21年度実績数等)

物理:55名(週1回)前期及び後期で実施・計30回(対象学生は工学部・水産学部合同授業)

英語:11名(週1回)前期及び後期で実施・計30回(対象学生は水産学部)

化学:22名(週1回)前期及び後期で実施・計30回(対象学生は工学部・水産学部合同授業)

数学:約100名(週1回)前期及び後期で実施・計30回(対象学生は経済学部・工学部・水産学部で学部毎に実施。経済学部は前期のみ15回実施)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

物理, 化学, 英語, 数学について, 職業高校からの入学者及び希望者に対して, 教養教育における授業内容の理解と容易な単位取得及び専門教育のための基礎学力の養成と円滑な導入を目的としている。

単位の認定は行わないが学習効果が十分に上がるよう, かつ過度な負担増にならないように配慮した時間割で構成している。

このうち, 数学以外の科目は工学部と水産学部で共同して授業を行っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

講義担当教員 6名(うち非常勤講師 5名)

予算 1,614千円

講義の内容や対象学生の選考, 実施時期等, すべて学内で企画・実行している。

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託は行っていない。また, 今後の予定もない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

76. 熊本大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

物理	工学部(1コマ:20h)	60人
化学	工学部(1コマ:20h)	25人
数学	工学部(前期6コマ:180h、後期2コマ:60h)	35人

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学ではアドミッションポリシーに基づき、大学教育を受けるに足る能力・適正を見極めた上で学生を受け入れるよう努めているが、必ずしもそうなっていない状況もあり、受け入れた学生に対する大学の責任として、各学部が必要に応じて行っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

教員 8人
非常勤講師 4人 (経費 371,000円)

② 外部委託の現状、今後の予定

現状:実施科目の一部を非常勤講師で対応している。
今後の外部委託の予定:入学者の動向を見た上で対応することとしており現時点では未定。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

物理 1人(1コマ:20h)
化学 1人(1コマ:20h)
数学 2人(1コマ:30h)

77. 大分大学

2 リメディアル教育（高等学校課程の補習教育に限る）について

(1) 実施している科目毎の実施状況

1. 「基礎英語補習（経済学部）」 対象学生数：136人，実施時間数：60時間
2. 「英語補習（工学部）」 対象学生数：39人，実施時間数：30時間

(2) リメディアル教育の位置づけ等について

大学教育への導入教育として位置付けており，単位取得はできないが正規の授業として設定している。
各学部との連携については，現在のところ想定していない。

(3) 業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数：5人（全員非常勤講師）
予算：750千円（非常勤講師手当）

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

78. 宮崎大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

数学補習(対象:数学Ⅲ未履修の工学部1年生約60名)90分×6回=540時間
物理補習(対象:物理未履修の工学部1年生約40名)90分×10回=900時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

工学部の授業は高校の数学Ⅲと物理の知識をある程度前提として進めるため、これらを未履修または履修不十分のまま入学してきた工学部新入生(主に、実業系高校出身の推薦入学者)を対象に、上記補習を工学部単独で実施している。該当学生には入学時ガイダンスにて案内し、ほぼ強制的に受講させている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

担当職員: 工学部FD委員1名[補習授業の企画、補習授業担当講師(非常勤)との連絡]
予算: 約37万円[非常勤講師料]

② 外部委託の現状、今後の予定

この補習授業そのものは、非常勤講師(本学を定年退職した教員)にお願いしている。
今後も同様の予定。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

この補習の内容・日程等については、工学部FD委員会が決め、上記のFD委員1名を介して予め非常勤講師に伝えている。また、毎年、受講生にアンケートをとり、次年度以降のこの補習の内容・日程等の改善を工学部FD委員会で検討している。

79. 鹿児島大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

(平成21年度実施分)	
英語:40人、90分×11回	物理学基礎:15人、90分×15回
数学:80人、90分×12回	物理:90人、90分×12回
化学:30人、90分×10回	生物:50人、90分×12回

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

主に、職業学科及び総合学科卒業生又は帰国子女に対して、当該学生の未履修科目の補習教育を実施している。また、全学の教務委員会において、科目開設学部との調整を行っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

事務局及び科目開設学部(5学部)の教務担当職員が兼務している。
実績に基づき、講師謝金(学外講師)及び教材作成費等の経費を学内で措置している。

② 外部委託の現状、今後の予定

なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

なし

80. 鹿屋体育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当なし

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

81. 琉球大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

- ・微分積分学入門Ⅰ(対象学生;130名、実施時間;90分×15回)
- ・微分積分学入門Ⅱ(対象学生;130名、実施時間;90分×15回)
- ・物理学入門Ⅰ(対象学生;300名、実施時間;90分×15回)
- ・物理学入門Ⅱ(対象学生;300名、実施時間;90分×15回)
- ・化学入門(対象学生;100名、実施時間;90分×15回)
- ・化学入門Ⅰ(対象学生;100名、実施時間90分×15回)
- ・化学入門Ⅱ(対象学生;100名、実施時間90分×15回)
- ・基礎数学(対象学生;30名、実施時間90分×15回)
- ・基礎数学Ⅰ(対象学生;180名、90分×15回)
- ・基礎数学Ⅱ(対象学生;80名、90分×15回)
- *学習サポートルーム(毎週水曜日15:00~17:00)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

琉球大学の授業科目は、共通教育、専門基礎教育及び専門教育の科目群に分けられている。その中の専門基礎教育の科目は、理科系の専門教育を履修するための基礎になる科目から構成されている。科目としては先修科目と転換科目からなり、先修科目は、理科系の専門科目を履修する前に、必要条件として履修する科目である。また、理科系の学部で学ぶ学生の中には高等学校での科目履修制度の改革や、入学試験の選択科目の選び方によって、先修科目や専門教育を履修するための基礎学力が不足している場合があり、学生の学習到達度の違いや、入試制度の多様化に柔軟に対応できるように、高校から大学への学習の補完を図るため転換科目を設けている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

- ・微分積分学入門Ⅰ 常勤:1名、非常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- ・微分積分学入門Ⅱ 常勤:1名、非常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- ・物理学入門Ⅰ 常勤:3名、(夜間主)常勤:1名
- ・物理学入門Ⅱ 常勤:3名、(夜間主)常勤:1名
- ・化学入門 常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- ・化学入門Ⅰ 非常勤:1名
- ・化学入門Ⅱ 常勤:1名
- ・基礎数学 非常勤:1名
- ・基礎数学Ⅰ 非常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- ・基礎数学Ⅱ 非常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- 合計 23名(うち非常勤講師10名、非常勤講師手当 計 1,815,900円)
- *学習サポートルーム TA:2名から4名、謝金 計 65,360円

② 外部委託の現状、今後の予定

- ・外部に委託なし
- ・現在のところ委託の予定なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

82. 北陸先端科学技術大学院大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

② 外部委託の現状、今後の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

83. 奈良先端科学技術大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当無し

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当無し

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当無し

② 外部委託の現状、今後の予定

該当無し

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

84. 総合研究大学院大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

--

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

85. 筑波技術大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

聴覚障害者の学ぶ産業技術学部において1週14時間(英語4, 解析4, 数学2, 物理4)×25週の授業を外部講師(近隣大学の大学院生及び私立大学の非常勤講師等)が担当している
対象学生数:英語3名、数学5～10名、物理5～10名

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学は聴覚・視覚障害者のための大学であると同時に工学系・医療系学科からなる。高校までの情報保障が十分でなかった学生には特に外国語や理数系科目の学力不足の学生も多い。高校から理系専門教育への橋渡しの観点からも高校課程の学力を保障するリメディアル教育は本学では特に重要と位置づけている。
現在、カリキュラム外のリメディアル授業は上記(1)に限られるが、基礎教育課程にリメディアル教育の内容を盛り込んだカリキュラム改革を進行中であり、今後は視覚障害学生の学ぶ保健科学部においても数学のリメディアル授業が計画されている。

(3)業務の実施体制 *基礎教育を担当する部局の教員が中心となって外部講師手配等をコーディネートするほか手話通訳等の情報保障支援に当たっている。

① 本業務に実施している職員の人数、予算

外部講師数:8名
21年度予算(外部講師への謝金、旅費、テキスト代):658,490円

② 外部委託の現状、今後の予定

本学教員がコーディネートし、実際の授業は他大学大学院生や他校の非常勤講師が担当している。ただし、本学の授業においては手話や字幕挿入といった情報補償が不可欠であり、この業務については学内スタッフが担当している。本学の授業には手話通訳や教科書点訳といった情報保障のための特殊技能が必須であるため今後も全面的な外部委託という形態は考えていない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

86. 政策研究大学院大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

本学は、政策研究者及び行政専門家を養成する大学院のみを有する大学であるため実施していない。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

② 外部委託の現状、今後の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容